

包括的核実験禁止条約機関（CTBTO）準備委員会
ロバート・フロイド 暫定技術事務局長



ロバート・フロイド氏は、2021年8月1日、CTBTOの4代目の暫定技術事務局長に就任。

現職に就く前は、2010年から2021に至り、ASNO（Australian Safeguards and Non-Proliferation Office、オーストラリア保障措置・不拡散局）で事務局長を務め、CTBT（Comprehensive Nuclear-Test-Ban Treaty、包括的核実験禁止条約）や、NPT（Treaty on the Non-Proliferation of Nuclear Weapons、核兵器不拡散条約）、CPPNM（Convention on the Physical Protection of Nuclear Material、核物質防護条約）、CWC（Chemical Weapons Convention、化学兵器の開発、生産、貯蔵及び使用の禁止並びに廃棄に関する条約）など、オーストラリアにおいて様々な国際条約の実施と遵守を担当した。

ASNO 事務局長在任中、フロイド氏は、IAEA（International Atomic Energy Agency、国際原子力機関）事務局長諮問グループである SAGSI（Standing Advisory Group on Safeguards Implementation、保障措置に関する専門家グループ・顧問団）の議長、改正 CPPNM のレビュー準備委員会の共同議長、IPNDV（International Partnership for Nuclear Disarmament Verification、核軍縮検証のための国際パートナーシップ）の作業部会の一つで共同議長、NSS（Nuclear Security Summit、核セキュリティ・サミット）のプロセスにおけるオーストラリア代表（Sherpa、シェルパ）、ASPN（Asia-Pacific Safeguards Network、アジア太平洋保障措置ネットワーク）の議長も務めた。

ASNO に赴任する前、フロイド氏は7年以上（オーストラリアの）首相・内閣関連で勤務し、テロ対策や、拡散防止、緊急事態管理、国土安全保障、国境安全保障などの政策課題

に関してオーストラリア首相に進言する上級幹部職を数多く歴任した。

フロイド氏は、カザフスタン独立 30 周年記念日（2021 年 12 月 16 日）に、CTBTO とカザフスタンの間で結ばれた核兵器廃絶・軍縮や、平和、セキュリティ・安全保障に関する協力で永続的なパートナーシップを評価され、記念メダルを授与された。また、2021 年度に、ANA（Australian Nuclear Association、オーストラリア原子力協会）に、ASNO の事務局長としての卓越したリーダーシップを評価され、Australian Nuclear Association Award（オーストラリア原子力協会賞）を授与された。

フロイド氏は個体生態学の博士号を取得し、キャリアの最初の 20 年を、オーストラリアの CSIRO（Commonwealth Scientific and Industrial Research Organisation、オーストラリア連邦科学産業研究機構）の研究科学者として過ごした。

ジェンダー・男女平等と女性エンパワーメントという大義の長年の信奉者として、International Gender Champion（IGC、国際ジェンダーチャンピオン）の一人であり、2021 年に IGC ネットワークに加わった。

フロイド氏はオーストラリア国籍。結婚し、成人した子供が 3 人いる。

- 博士号・Ph.D. – Simulation modelling（シミュレーションモデリング）and population ecology/biology（個体群生態学・生態学・生物学）、Griffith University（1984 年卒）
- 学士号（優等）・B.Sc. (Hons) – University of New England（1980 年卒）